

東郷村報

昭和26年1月18日
 發行所 東郷村役場
 町所 富島町
 印刷所 富島印刷所
 電話 64番

年頭(の)挨拶

村長 小野 弘

輝かしい昭和二十六年の新春を迎へましたことは村民の皆様と共に誠に同慶に堪へない處であります。振り返りますと昨年はあらゆる点で變轉の多い年でありまして國際關係では日本に最も關係の深い朝鮮の動亂が勃發し又終戦以來國民の待望でありました對日講和も情勢の變化で未解決の儘になり國內でも思想の問題經濟の問題等實に多難な年であつたのであります。村内に於ても連年に亘る災害と經濟界不安定は村民の生活に深刻な影響を與へたのであります。

最近の實狀から推して地方自治の確立を期することは焦眉の急を要する問題であります。それが爲には産業の振興災害の復旧、教育施設の整備強化等々數え挙げれば限りない事柄であります。それがそれ等の問題を速かに解決して如何なる事態に達しようとも微動だにしない體勢を造らなければならぬ。

年頭(の)辭

東郷小學校長 都甲 鶴男

君が代のうたにわらべと初春の、年をむかえてまたあらかあかと冠山よりさし照る、光は兒らのほほに照りしは、何となく今年も希望にもゆるごと、よもののみな思へてうれし初春のあさ。」

私はたくさんの子供をあづかっているので何時も新年を迎へて思うことは、子供に育つてゆくことだらうかと思ひます。世界に育つてゆくことは事實であります。そこで私達は子供をとりまく社會即ち家庭や村が、健全にして豊かな環境になつてくれれば、どんなにか子供もすこやかかと思ひます。

年頭に想ふ

村會議長 橋口 和吉

爲すべきことを爲さなかつたことはなかつたか、爲し得ることを怠つたことはなかつたか、爲し得なかつたか、爲し得なかつた原因はどこにあつたか、計劃が拙つたのか、努力が足らなかつたのか、あゝもすればよかつたか、と思ふ。

い當ることばかりである。昭和二十六年の新春はすでに大きな足音をたて、スタートを切つた。國際情勢は予斷を許さない私共の前途には爲すべきことが多し今年こそ悔なきよう頑張らう。

生活とたかづいてゐるのも皆これにあると思ひます。私達は從來の考え方は明ら健全な生活はどうしても出來得ない日本の現状であります。工夫がいろいろあり、即ちそれぞれの仕事に研究をしなければ凡ての生産の擴充は出來得ないのであります。

新春を迎えて

東郷中學校長 塩月 儀市

「鳥兔匆々」の感の裡に昭和二十五年も暮れ、茲に二十六年の元旦を迎へ先づ新春を壽ぎ國家の隆昌を祈ると共に本年は昨年より充實した一年を送りたいと念願いたしました。我が國が平和に徹した文化國家を建設してやがては世界の先進國と肩をならべようとの悲願の下に新日本の建設にふみ出してこゝに第六回の元旦を迎へたのであります。今まで歩いて來

水田面積測量

水田面積測量

計畫樹立の基礎を作ることには契機なる問題であるのでその手始めとして水田の面積測量を一月中旬より二月中旬にかけて抜本的に實施致しますので該當耕作者の方は御協力を願ひます。

檢察審査會制度の話

皆さん檢察審査會というのを御存じですか？ 檢察審査會というものは、昭和二十三年七月十二日から施行された、檢察審査會法によつてできた機關で、全國二〇三箇所に設けられ延岡にも、延岡檢察審査會が設けられ、延岡市及び東西白杵郡全体を管轄してあります。

考へ草

考へ草

「新年おめでとう」皆それ、に新しい希望と意氣どみに燃えてゐることであらう。昔から一年の計は元旦にあつた。この意味で農村文化の健全な發展は其の上に築き立ち文化の基礎として十分分らねばならぬ。

農村文化と農村生活

農村文化と農村生活

「自然の變化は毎年秩序正しくやつて來る少しばかりの變化の時期の早晚が人間生活を強引に脅威するのみならず、我々は何時までもそれを甘受して唯忍耐を以つて突進する愚は矢張愚である以外にない。このように對して農業も弾力性のある農法と必要技術を休得して突破する必要がある。これに自ら其の土地の生産力と氣候に立脚したその地特有の農法の創案が生れる事になる。其の事は農村文化の創造を意味する。」

水野 彰三

そのうしてその自然の働きかけが開墾耕作であり、フラスクリンの言葉で借りれば「道具を造る動物」として、技術者を編み出した。この技術こそは文化の最初のものでありやが



兎と亀と税金

!!寝ても税、起きても税で年が暮れ!!

近頃三人も寄ると税金の話は大變良し事だと思ふ。私とは大變良し事だと思ふ。何んとかして納めなければならぬと考へるから話に出すのだ、然し最後は税金がこんな高くつては困ると話のタリをつける、又戦争に負けたりたから仕様があらうかと投げやりには言ふ。では戦争に勝つた國が税金が安いと言ふとどうも、以上は重税を負擔して居る、日本の三大義務は、教育、労働、納税、であるが働いて収入を得て納税する事に依つて自分達の學校も建ち、施設も完備しより高い教育が出来るのだ。立派な橋がかゝつた、私達は無意識にその橋を渡る。然し心ある者は朝に夕にその橋を渡る時橋脚に又コンクリートの中に相當額の税金が注がれて居るのを發見するでしよう。降雨期になると道路が水に流される。又私達が納めた税金の内から修理しなければならぬ道路を愛護する、公共物を大事にする、そうしたこと

に有りました様に村の現在の豫算は貳千三百六拾參萬貳千貳百七拾貳圓にして、その内村税の豫算は六百八拾參萬五千圓となつて居ります。此の豫算額の中には昭和二十四年度の滞納額壹百五拾六萬圓も這入つて居るのであります。

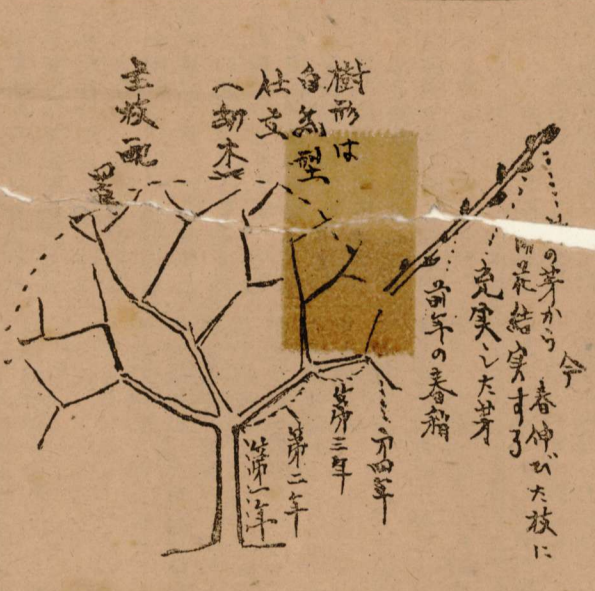
滞納の理由は、金詰りや地方税法の改正に依る増額等各人、各様に有ると思われ、年々、年度末も近づきつゝ有りますので、今から皆

村税	期別	調定額	収入額	収入歩合
固定資産税	一期	八八、八〇〇	八〇、〇〇〇	九〇%
	二期	八八、八〇〇	八〇、〇〇〇	九〇%
自轉車税	一期	八八、八〇〇	八〇、〇〇〇	九〇%
	二期	八八、八〇〇	八〇、〇〇〇	九〇%
荷車税	一期	八八、八〇〇	八〇、〇〇〇	九〇%
	二期	八八、八〇〇	八〇、〇〇〇	九〇%
合計		1,110,000	1,000,000	90%

農作業年中行事

經濟課長 水野彰三

農作業は祖先代々永年に亘つて繰返されて居り一見何でもないようであるが經營を合理的に行ひ收穫の絶対量の増大を計るには古來からの慣習を脱して適期作業の勵行によつて達成することが出来る。昭和二十六年からは計畫的に農作業を常



の中に施しませう。

果樹の手入れ

剪定 落葉果樹の冬期剪定は今から三月中旬までが丁度よい。幼木は充分結實することの出来る様樹形を整えるために支柱を立てる。

二、水田の手入れ

一、寒鋤 一毛作田は、内に充分深耕して空気の流通を計り風化作用、助長土壌の性質を改善させ

の豊富な關係上、木炭同様の愛好を得て主に北九州方面に出荷して居たが、戦時中の量的第一主義の影響を受けて蓄積が急激に減少し、生産は激減の状態である。

以上、竹材、樹實等も將來性を期待されて居るが主軸をなすものは木炭と椎葉である關係上之が増産と品質の向上を計るため、東部各村に於いて、林産物品質向上の指導を計らねばならぬ。二月月上旬頃、村會を開催し、指導を計る。

二、水田の寒鋤 一月に鋤起した田も風雨にさらされて風化作用を妨げて居るから第二回の深耕を行

此の實情を知つた部落の人達は誰いふともなく龜市さんの供米に加勢する申合せをして、糶すりから俵裝、運搬に涙ぐましいまでに協力した。まことにうるわしい明るい話ではありませんか。

欲しいもの

昔或る歌人が、どんな歌にも、必ずびつたりと合ふ一句を、考へ出して、見る人毎に、自慢をしてゐた。それは歌の最後に、「と言ひし、昔の偲ばるゝかな」と言ふのであつた。

青によし奈良の都は咲く花の匂ふが如く今盛なりと言ひし昔の 偲ばるゝかな

たまゝ 或る狂歌師が訪れたので、又候、御自慢に及んだ。

處がその狂歌師は「成程結構です。然し、それは貴方の様な、歌より外は、必要のない人達の、歌であつて、私達には、びんと來ない。我々に、びんと來るの、はこんな歌である」と言つて、歌つたのは、最後に「それにつけても金の欲しさよ」と言ふのであつた。

敷島の和心を人間はば朝日に匂ふ山櫻花 それにつけても金の欲しさよ

ふるりの尾鈴の山の 悲しさよ 秋も霞のたなびきており それにつけても金の欲しさよ

税納報告

昭和二十五年に於ける村税の収入状況は表が示す通りあまり喜ばしいものでは有りませんが、村報前月號

主要林産物について

東郷村は地積の七割を占める林野を有して居り、木炭、椎茸等の林産物の生産に、縣内有數である。然しながら道路の分布少なく、何れも山間地帯長距離の輸送を必要とし、林道網の整備擴充がなければ、資源の活用も不可能な惱みがある。

第一主義と戦後の風水害の影響を受け、二十一年度は激減した。二十二年度は逐次上昇し二十三、二十四年度に於ては、戦前の水準に復歸した。この間、消費地に於ては、かくの風評ある、品質規格の向上に資するため、規格の改正が行はれ更に品質の向上に検査の適正指導等に依り日向木炭の聲價を名實共に堅持して居る。

日向特産椎茸は原木と氣候に恵まれ、全國最大の量と質とを以て知られ、本村も種駒壹千個、付壹百圓以内

本村山林の七割は潤葉樹林（主として薪炭、原木林）であり、戦時中の過伐及び戦後復興資材の需要激増により用材材の生長を、はるかに上廻つて伐採せられ加ふるに台風で被害木を生じたので現在では木材の生産量は極めて少い。今こそ幼令原木の撫育と植林に依つて枯渴に類せる用材材の確保と培養を計らねばならぬ。之がため森林組合主催の植林の計畫を樹立し完遂を願ひする次第である。

林務係

二、水田の寒鋤 一月に鋤起した田も風雨にさらされて風化作用を妨げて居るから第二回の深耕を行

しい協力

寺迫の海野龜市さんは同部落の駐在所長を勤めてゐる人で部落の世話には寢食を忘れるくらい熱心である。村内でも一番遠い寺迫から役場までいつも部落の人達の用事をあづかつて來られる。海野さんは今年の供米には三十俵の内率先して十八俵を早期に供出し、なほ十二俵を供出することになつてゐたが多忙なために糶すりがおくれ供出期限が切れそうになつてゐたところ

欲しさよ

ふるりの尾鈴の山の 悲しさよ 秋も霞のたなびきており それにつけても金の欲しさよ

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

先づ衣料品が安くなり、その次に米が安くなると言

二十五年の歩み

今年度の行事計画を樹つるに際して、試みに旧年中にどんな行事があつたか調べてみたところ次のよう...

一月

一日 村主催の新年祝賀会を兼ねた刺交換会が東郷小学校で盛大に開催された...

二月

九日 消防団第七部(寺迫)消防出初式寺迫小で行はる...

三月

四日 成年祭東郷中学校で開催...

四月

一日 消防部長会議場に開催...

五月

二日 村内PTA協議会に開催...

六月

四日 参議院議員選挙投票及開票...

七月

一日 社会講座企画委員に開催...

八月

十六日 東郷中学校落成式挙行...

九月

一日 村婦人大會東中で開催...

十月

一日 一齊に國勢調査、東小運動會...

十一月

六日 坪中越表分校建築につき議事特別委員会召集...

十二月

二日 第三回東郷村文化祭、坪中越表分校建築起工式挙行...

職員練成會(土呂ゆき)

十六日 職員練成會(土呂ゆき)...

村税賦課徴収例改正

十五日 麥供出につき組合長會開催...

百日後「タケリ」の豫防接種に就いて御知らせ

旧年中に百日咳の予防接種を実施しました...

犬の登録に就いて

畜犬の所有者は村長を経て、縣知事に犬の登録申請をせよ...

主要食糧小販販賣業者甲(ゆてめんを除く)の登録について

村内の皆さん明けてきて御芽出度うございませう...

接種第一回第二回第三回

Table with columns for area (接種区分), date (接種期日), and location (接種場所). Rows include 追之内, 田野, 羽坂, etc.

接種第一回第二回第三回

Table with columns for area (接種区分), date (接種期日), and location (接種場所). Rows include 追之内, 田野, 羽坂, etc.

接種第一回第二回第三回

Table with columns for area (接種区分), date (接種期日), and location (接種場所). Rows include 追之内, 田野, 羽坂, etc.

接種第一回第二回第三回

Table with columns for area (接種区分), date (接種期日), and location (接種場所). Rows include 追之内, 田野, 羽坂, etc.

接種第一回第二回第三回

Table with columns for area (接種区分), date (接種期日), and location (接種場所). Rows include 追之内, 田野, 羽坂, etc.

接種第一回第二回第三回

Table with columns for area (接種区分), date (接種期日), and location (接種場所). Rows include 追之内, 田野, 羽坂, etc.

接種第一回第二回第三回

現在配給を受けておられる方が満足する迄にどのやうな過程を経ねばならぬか...



子供と小鳥

一新家木朗一

自動車での通りすがりや、歩いて居る時、特に日曜日など子供達が小鳥籠を掲げて...

運命、いや世の中のを一杯見せつけられた感で一杯になり、「今後小鳥は飼わぬ事にする」と決めていた...



昭和二十六年を迎えて

東郷小 六年 海野京子
太陽が元日の日をほかぼかと照らしている。

私は今年こそと思つて去年やつてしまわなかつた事をやりとげようと思ひました...

おつて、片手に牛ひきおつて、今年こそ去年よりもつと、一しようけんめい、勉強をしよう...



俳句
白く塗る母に冬も立ち初めぬ
三年 三原かね子

短歌
初霜に秋も別れの菊の花つぼみ哀れやおくれ咲きは...

新年を迎えて
東郷小 三年 平尾吉章
しよわ二十五年も過ぎてもうしよわ二十六年、僕たちの待つて居る、たのしい正月が、やつて来ました...

おつて、片手に牛ひきおつて、今年こそ去年よりもつと、一しようけんめい、勉強をしよう...

秋の野みち
三年 都甲将史
この道どこまでつづく道むこうの林へはいる道...

給配ニース
その一 砂糖
◎案じてゐた新正月の砂糖も十月分の配給が間に合つ...

雨あがりの朝
一年 井上操
のつぼのきびも小さな草もすきとおつた水晶のような...

品ぬ配給受けにや、ちえにやわん
「東郷村報」涙してよむと云ふ歌がありましま...

燈火油消費者の皆さんへ
「只今農業協同組合で取扱つて居る燈火油の配給が最近...

毎ひとわり
毎號連載してゐました水野さんの「東郷村農業の将来...

編者後
村民の皆さん
明けましておめでと今年もよい年である様に祈つてやみませぬ。

見よと送る
「東郷村報」涙してよむと云ふ歌がありましま...